

自己評価報告書

平成23年4月11日現在

機関番号：14301
 研究種目：基盤研究B
 研究期間：2008～2012
 課題番号：20320109
 研究課題名（和文）中国古代軍事制度の総合的研究

研究課題名（英文）A general study on early Chinese military system

研究代表者

宮宅 潔 (MIYAKE KIYOSHI)
 京都大学・人文科学研究所・准教授
 研究者番号：80333219

研究分野：中国史

科研費の分科・細目：史学・東洋史

キーワード：軍事制度、出土史料、官制、法制、礼制

1. 研究計画の概要

本研究は中国古代の軍事制度を、新出史料を利用しつつ、通時的・総合的見地から解明することをその目的とする。研究の柱は二つある。

(1) 新出文字史料の整理と、それを利用した秦漢軍事制度の分析。

新出の木簡・竹簡史料中の、軍事に関わる史料を抽出し、分類・検討を加える。この作業を通じて、漢帝国の辺境防備体制とその機能を解明し、さらには兵員の構成とその社会的地位、民衆統治と軍政との接点にも迫る。

(2) 中国古代の兵制の総合的、通時的検討。

秦漢時代の制度を、主として魏晋南北朝の兵制と比較しつつ検討し、その通時的な展開を明らかにする。兵制そのものに限らず、法制（刑罰と軍事の関係、いわゆる「兵刑一致」の諸相）、官制（官僚制度における軍事の位置）のなかの軍事的要素にも注意を払い、軍事が持つ政治的・社会的なインパクトを分析してゆくことを目指す。

2. 研究の進捗状況

前項(1)の課題については、すでに辺境地域から出土した居延漢簡（総計約30,000本）の検討を終え、内容ごとに分類を加えた。抽出済の史料はすでに2,000件を越え、これらを羅列するだけでは史料集の用をなさない。年代が推測できる記事を中心に、史料をより絞り込む作業を、一方では開始した。この検討のために、関西圏のメンバーがほぼ隔月で研究会を開いている。

(2)の課題をめぐって、まず初年度には国内外の研究状況の分析を重点的に行い、韓国・米国の研究協力者からも各国の研究状況についての報告を得た。総じていえば、日

本・韓国の兵制研究は徭役制度や官僚制度研究の一環として進められており、それが軍事に係わるものであることへの認識が希薄である。同じ傾向は中国での研究にも認められる。一方で、欧米では軍事を正面から扱った研究が多い。こうした相違を互いに踏まえつつ、①皇帝権力や中央政府の政権構造の中に潜む軍事的性格をより意識する必要性、及び②軍事を負担する者に対して与えられる社会的地位の、通時代的变化を模索する必要性、が共通認識として得られた。

その上で、第二年度から個別の研究発表を本格化させ、佐川英治（漢～唐の軍功褒賞制度）、佐藤達郎（漢代の地方長官が帯びる指揮官としての性格・権限）、藤井律之（北魏皇帝の巡幸、および軍事訓練が持つ政治的意味）、金秉駿（漢王朝による朝鮮半島北部の占領政策）の四名の研究発表について、それぞれ討議の場を持った。そして第三年度には、これまでの成果を総括し、広く意見を徴するべく、国際シンポジウムを開催した。宮宅・ギーレ・金・佐川・丸橋が研究発表を行い、多くの参加者から貴重な意見が得られた。なお、この会議の内容は冊子として印刷され、関係研究者に広く配布された。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している

(理由)

前項に述べた研究の進捗状況は、採用時の計画にほぼ沿ったものであり、課題(2)の中間成果である第三年度の国際シンポジウムは、参加者から非常に高い評価を得た。

4. 今後の研究の推進方策

研究計画に大きな変更を加える必要はな

く、当初の計画に沿って最終的な成果、すなわち軍制関係新史料集と論文集の作成を目指す。

課題(1)については、史料の抽出を進める一方で、大まかに分類・整理した史料を、特定のテーマにそって、あるいは年代が分かるものを中心に、より絞り込む作業を進めてゆく。

課題(2)に関しては、今後も研究発表と討議を重ねてゆきたい。第三年度の国際シンポジウムでは、「軍事」や「暴力」に対する中国古代人の心性にも切り込むべきである、との、興味深い指摘があった。当初は予定していなかった研究課題ではあるが、海外研究協力者の力を借りつつ、この方面に関しても分析を試みてゆきたい。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計8件)

- ①佐川英治、中国古代の都城の空間、文化交流研究 24、45-59 頁、2011、査読無
- ②丸橋充拓、魏晋南北朝隋唐時代における「軍礼」確立過程の概観、社会文化論集(島根大学法文学部紀要・社会文化学科編) 7、53-61 頁、2011、査読無
- ③丸橋充拓、府兵制下の「軍事財政」、唐代史研究 13、56-70 頁、2010、査読無
- ④佐藤達郎、漢六朝期の地方的教令について、東洋史研究 68-4、1-26 頁、2010、査読有
- ⑤宮宅潔、秦漢時代の恩赦と労役刑一特に「復作」をめぐって一、東方学報京都 85、45-75 頁、2010、査読有

[学会発表] (計4件)

- ①佐川英治、漢六朝時代の郊祀与城市計画、中古時代の礼儀、宗教与制度国際学術検討会、2010年11月7日、中国、復旦大学
- ②丸橋充拓、唐開元軍事儀礼の源流、東洋史研究会、2010年11月3日、京都大学
- ③佐川英治、都城与円丘—北魏宣武帝景明二年円丘設置の歴史意義—、第三届中国中古史青年学者聯誼会、2009年8月29日、中国・武漢大学
- ④佐藤達郎、漢代の扁書・壁書一特に地方的教令との関係で—、中国古中世史学会、2008年5月23日、韓国・忠北大学

[図書] (計2件)

- ①宮宅潔、中国古代刑制史の研究、京都大学学術出版会、2011、411 頁
- ②富谷至・宮宅潔・井波陵一・藤井律之(共著)、三国鼎立から統一へ—史書と碑文をあわせ読む、研文出版、2008、162 頁

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況 (計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]